

会社概要

CORPORATE PROFILE

Company Book

会社案内

会社名	岩内基礎有限会社
所在地	〒289-1726 千葉県山武郡横芝光町木戸10413-1
TEL	0479-84-0445
FAX	0479-84-0494
設立	1981年4月21日
資本金	3,000,000円
代表	岩内真吾
事業内容	杭打工事・地盤調査改良工事・山留工事
建設業許可	とび・土工工事業 千葉県知事許可第22500号



IWAUCHI KISO

日本の未来を支える鋼管杭のエキスパート

アクセス



社屋



岩内基礎有限会社

<https://iwauchikiso.com/>



岩内基礎有限会社

TOP MESSAGE

ご挨拶

安心と確かな技術、岩内基礎が担う未来の礎。

「杭」と聞くと、一般的には「クレーン車が倒れた」「マンションが沈下した」

「きつい・汚い・危険の3K」「職人のイメージで近寄りがたい」といった

ネガティブなイメージが広がっているかもしれません。私たち岩内基礎は、

この業界で40年の歴史を積み重ねながらも、古い概念が残る中で、

新しい価値観を提供し続けています。

約18年前、私たちは主力事業を「鋼管杭」にシフトしました。

当初は未知の領域で仕事も限られ、手探りの作業、そして大きな設備投資に悩まされ、

時には企業の存続すら危ぶまれることもありました。しかし、そんな厳しい状況を

乗り越える中で、私たちは自問自答し、「未来に向けて弊社が果たすべき役割は何か？」

という問いに答えました。それが、現在のキャッチコピーでもある「技術力」

「対応力」の向上であり、お客様に信頼される企業としての道を歩んでいます。

スタッフの協力とお客様のサポートに恵まれ、ここ数年でなんとか右肩上がりの業績を達成し、当初から共に苦労したスタッフが全員残り、現場の責任者として活躍しています。

私たちの将来の目標は、40年以上にわたる「技術力・対応力」を生かし、

鋼管杭の特徴である次世代に向けた「地球環境」「信頼性」「労働環境」の

向上に貢献し、これらの側面を広く一般の方々に知っていただくことです。

私たちの経営理念は、「杭工事で安心できる生活を提供する」これを実現するために、

困ったときに気軽に相談でき、寄り添い頼られる企業を目指して、日々精進しています。

代表取締役 岩内 真吾

経営理念

PHILOSOPHY

杭工事で安心できる生活を提供する

私たちは、地震大国日本で安心・安全・信頼のおける技術を提供することにより、お客様、従業員（仲間）とその家族、お取引先、地域社会、そして自分自身の幸せのために日々向上し続けます。

経営目的

OBJECTIVE

お客様、お取引先の満足度向上

私たちは、お客様、お取引先満足度の向上を目指します。常にお客様のニーズを感じ取り、些細な質問、問い合わせにも笑顔、真摯で対応し、身近に感じていただけるよう努力します。

スタッフの満足度の向上

私たちは、スタッフ満足度の向上を目指します。スタッフの仕事ぶりに常に注目し、正しい評価をして育て上げるとともに、やりがいのある仕事と納得のいく給与（評価）、十分な休日、休暇、居心地の良い環境づくりを目指します。

岩内基礎の3つの誓い

OATH

1

私たちは、お客様に
真摯に対応いたします



2

私たちは、居心地の
良い職場づくりを目指します



3

私たちは、施工技術の向上心を
常に持ち仕事をします



羽根付鋼管杭打設工事

羽根付鋼管杭工事とは、鉄製で筒状の杭先端に羽根を付け、羽根の推進力及び重機の力により支持地盤（強固な地盤）に貫入させる工法です。

- ・重機の能力に頼る部分が非常に大きい。
- ・水、セメント、残土が基本的には発生しない。
- ・地盤の不陸に即座に対応できる。
- ・建物解体時に杭を引き抜く作業が比較的安易である。
- ・重機のバリエーションが豊富な為、現場環境に合った選定ができる。
- ・基本的にエンジン音のみで従来の杭打ち工事よりも振動、騒音が改善されている。
- ・一般住宅向け小口径鋼管杭もあり（Φ89.1～Φ165.2）



山留工事

山留とは、地盤を掘削（掘り下げる）際に、周辺の地盤及び建物が崩れないように側面を保護する為の構造物を作る工事です。主な工法として下記が用いられます。

シートパイル工法

両端に継ぎ手が付いた鋼矢板を連続して打ち込みます。引き抜きができる為、再利用が可能です。軟弱地盤から固い地盤まで幅広く使われます。継ぎ手がしっかりと結びつくことによりある程度の止水も期待できます。



親杭横矢板工法

H鋼に矢板をはめ込んでいきます。コスト面で安くできますが、止水の効果は期待できず、軟弱な地盤には適しません。浅い掘削に適していて小規模な工事に用いられます。



地盤調査 / 地盤改良（柱状改良、表層改良）

地盤調査とは、建物など建てる前にその地盤が安全かどうかを調べる事です。

- ①マンション等の大規模建築物の際に用いられる標準貫入試験
- ②標準貫入試験よりも小規模で測定することができるラムサウンディング試験
- ③戸建住宅や小規模構造物に用いられるスウェーデン式サウンディング試験
- ④道路や鉄道などの設計に用いられる平板載荷試験

柱状改良とは、地盤が軟弱な時（比較的浅い地盤）に、セメント系の凝固剤を地盤に注入して支持地盤まで強固な柱を作る工事です。杭基礎は基礎と杭が一体化しますが、地盤改良杭は一体化せずに杭の上に建物が乗るだけになります。表層改良は、直接基礎の下にセメント系凝固剤を混ぜ合わせて強固な地盤を作る工事です。



その他

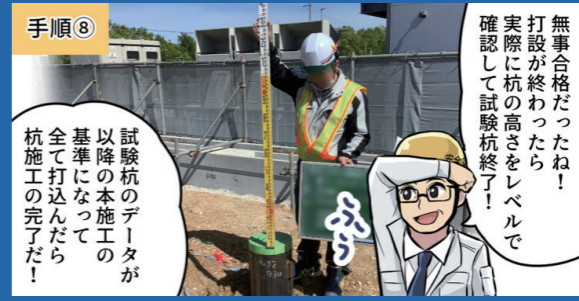
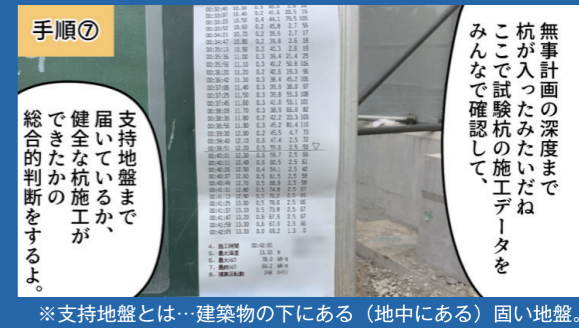
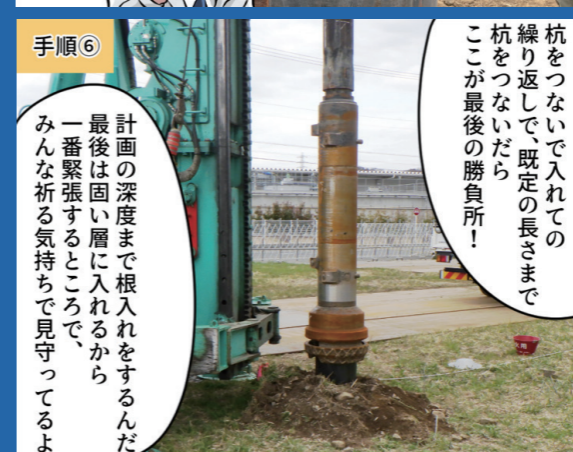
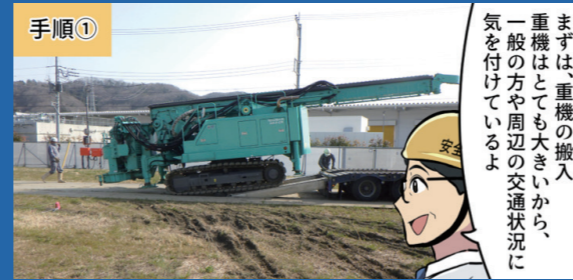
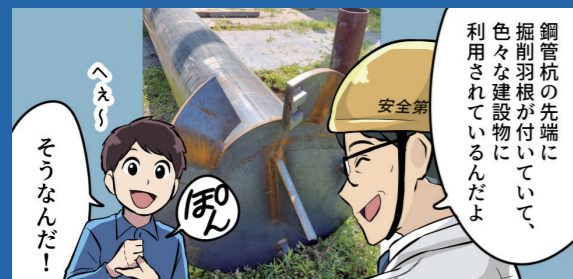
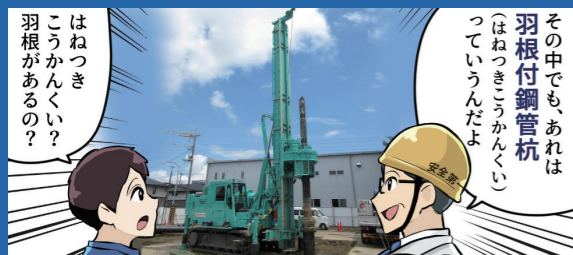
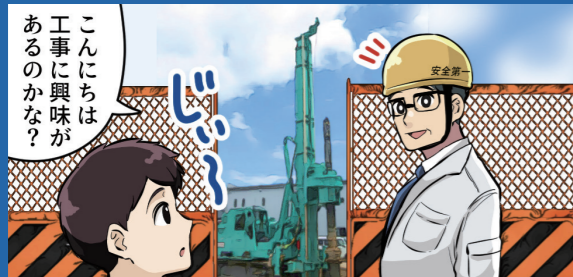
その他にも、創業42年の技術を活用し、実験工事や新規案件のご協力をさせていただいています。



漫画でわかる 岩内基礎のしごと

目指せ 「技術力」「対応力」No.1

鋼管杭は、建物や構造物の基礎工事に使用される重要な要素です。岩内基礎では、鋼管杭を使って建物の安定性や耐久性を高め、地盤の強度を確保します。
このまんがでは、鋼管杭工事の手順や技術、そして岩内基礎が大切にする安全な作業環境についてもわかりやすく紹介します。鋼管杭がどのようにして建築物の安全を支え、未来を守るのか、ぜひご覧ください！



※根入れとは…固い地盤(支持層)に入れること